

## 令和3年度第1回 釜石市男女共同参画推進協議会開催結果

1. 日 時 令和3年8月23（月）14:00～15:15
2. 場 所 第4庁舎 第7会議室1-2
3. 出席者等 <出席委員8人>  
石田正子委員、市川淳子委員、浦嶋博幸委員、菊池鍊城委員、  
万城目千佳代委員、八幡亘委員、山崎詔子委員、山本理悦子委員  
<欠席委員1人>  
菊地裕委員  
<市側出席者>  
市長 野田 武則  
総務企画部長 佐々木 勝  
総合政策課男女共同参画室室長 佐々木 義友  
総合政策課男女共同参画室室長補佐 正木 佳恵  
総合政策課男女共同参画室主事 猪又 孔太
4. 経過・結果 市長挨拶後、市長から委員へ委嘱状交付(新型コロナウイルス感染症拡大防止の  
為、石田正子委員が代表受領)を行い、出席委員が順番に自己紹介をした。  
会長及び副会長の選任を行い、会長を万城目千佳代氏に、副会長を石田正子氏に  
決定した。  
その後、議題 (1) 令和2年度男女共同参画室事業報告について、(2) 令和2年  
度男女共同参画事業実績及び令和3年度事業計画について、(3) 令和3年度男女共  
同参画室事業計画について提示、質疑応答を行った。
5. 結 果
  1. 開 会
  2. 委嘱状交付
  3. 市長挨拶
  3. 会長、副会長選出
  4. 議 題
    - (1) 令和2年度男女共同参画室事業報告について
    - (2) 令和2年度男女共同参画事業実績及び令和3年度事業計画について
    - (3) 令和3年度男女共同参画室事業計画について
    - (4) その他
  5. 閉 会

主な発言は以下のとおり。

### (1) 令和2年度男女共同参画室事業報告について

【山本委員】基本目標Ⅱ男女共同参画サポーター養成と活動支援について、認定者数が41名とあるが、実はこの中に上級サポーターという保証がある。上級サポーターの講座を受けるとその方自身が講習をできるようになり、そのくらいまで鍛え上げるという講座もあった。上級サポーターは釜石でも3,4名はいるはずだが、県が最近、企画していないので、増えていないのが現状である。

【万城目委員】市で上級サポーターを把握しているのであればピックアップして何かの機会に役立て欲しいと思う。

【事務局】役立てられるようにしたい。

### (2) 令和2年度男女共同参画事業実績及び令和3年度事業計画について

【浦嶋委員】職業柄、子供達と接触する機会が多い。人権に対するマンガや標語など、全体的な考えが子供達に入ってきていないと感じる。何年も継続して行っていると思うが、浸透

していないと感じている。マンガをやるよりは、パフォーマンス、寸劇などを行った方が効果的ではないか。自分の周りの大学生から、そういった声もある。

【山本委員】人権擁護委員会に直に申し上げてはどうか。毎年企画しているのは人権擁護委員会だから。

【浦嶋委員】この場はこの資料に書いてるものへの質問ではないのか。人権擁護委員会どうのこうのではなく。

【事務局】この資料について質問等いただく場で、事務局で回答できないときは担当課と確認するようになる。

【事務局】意見は記録して、担当課へ伝え検討するようになる。人権に関するものは生活環境課が担当課になる。継続するという検討結果になる場合もあるし、途中でやり方を変えるという結果もあると思うが、それについてはきちんと対応する。

【万城目委員】人権問題は男女平等なんだという考え方を子供達に植え付けるということだと思う。

【山崎委員】人権擁護委員をしている。毎年6月に学校訪問を行っていて、子供達から人権に関するマンガを募集し、展示を行っている。子供達が思っていることを絵にして、市民にそれを知らしめるという活動をしている。本は国で作成しているもの。

### (3) 令和3年度男女共同参画室事業計画について

【万城目委員】各講座の日程は決まっているか。

【事務局】女性活躍セミナーは県内事業所の方を対象にしており、今回は市内事業所の女性3名にロールモデルとして事例発表等をお願いしている。9月13日にイオンタウン釜石のくらししごとサポートセンターで開催予定だが、現在コロナの関係で8月中は貸館の利用制限がかかっている。今のところは開催予定だが変更もあり得る。

もう一点、サポーター養成講座の地域開催という位置付けで、10月10日鶴住居公民館で、仙台市の地域防災リーダーの方が講師となり講座を開催する予定としている。市民の皆さんにも周知する。

【事務局】デートDV講座は毎年市内の中学校2校を対象としており、今年度は唐丹中学校、釜石中学校にて6月、7月に開催した。思春期講演会は10月と12月に釜石東中学校、甲子中学校で開催予定としている。

### (4) その他について

【山本委員】オリンピックの男子飛び込みのペアで北欧の選手二人がカップルだということをテレビで解説していた。それを見ていた私より10歳年上の方が、「そんなことを今さら言わなくてもいい、それはそれでいいんだ、何もここでカップルだ、改めてゲイだという必要はない。」という事を言っていた。これが10年前なら誰もそういう発言はしなかっただろう。マスメディアが広報することで自然に理解しているものだと思う。新聞や報道で自然と理解に結びついているのだと思う。釜石市にもLGBTの方がいて、それを言葉に出せないと思っている人がいたら、そこは心配ないという気持ちになれるような土台作りを私達ができたらいいなと考えた。

【市川委員】今の山本委員に続く話になるが、震災の復興で様々な人と話をした経験がある。都会の若い方と話した時に、もう外国では彼女とか彼、SheとかHeとは言わない。They、Theirだと。第六次総合計画のキーポイントの多様性という言葉が一番のワードになると思うので、そこを目指して取り組んで行ければと思う。

【事務局】今の市川委員の発言のとおり、第六次総合計画にはダイバーシティインクルージョンということで、性別、職業、障害の有る無に関わらず、お互いの良いところを認め合って良い社会を作りましょうという内容になっている。是非釜石市でもそういった方向で取り組んでいきたい。

【山本委員】自分は委員2度目である。講座の受講方法がネットになると、学びたいと思ってもネット環境を持たないと学べない。前回、公的な場所にパソコンを設置して比較的自由に受講ができる環境を作ってほしいとお願いした。その後何も返事がない。講座を受けたいのだがネット環境がないという理由で受講を諦めている人がたくさんいると思う。理解を深めるため、公的な場所でフランクに使えるような場所があればいい。2度目だが改めてお願いしたい。

- 【事務局】 コロナの影響で様々な講座の受講方法がオンラインとなっている。サポーター養成講座は令和元年度まで職員が受講するのに合わせ、送迎を含め希望者と一緒に受講していた。こちらについては検討したい。
- 【浦嶋委員】 男女共同参画基本法が制定され長い時間が経過しているが、国民に周知されていないと感じる。これから若年世代、小中高生が知っていくことが大切になると思う。その子供達に対して分かりやすいように、周知していくのはどうしたらいいのか、自治体単位で考えてもいいのでは。彼らが事実上、10年後20年度認識して暮らしていければいいと思う。
- 【市川委員】 以前、自分と万城目委員は教育委員だった。道徳が教科として入ってきており、学校でも子供達の今の現状や色々な状況を踏まえた上で対応していると思うが、そういったところに自分達が地道に働きかけていくことが大事だと思う。
- 【万城目委員】 子供に教えていくというより、今の大人達が道徳的な考え方として、多様性という部分を理解していかないと。結局、子供は親の姿を見て育つので、学習というよりは身に付ける、心身に問いかけるということが大切だと思う。
- 【菊池委員】 自分は寺院に勤めているが、お茶をセルフで置いている。法事で女性の方が親族から「〇〇さん、お茶入れてちょうだい。」と言われ、子供を抱っこしながらお茶入れているのを見たことがある。それをやるのが当たり前で、その考えが根付いている。今の時代を考えるとということが出来ない年代にも、どうい話をして、どうすれば聞いていただけるかということも考えていければと思う。
- 【石田委員】 お母さん方はとても忙しい。家事や地域との関わりなどの活動に出ているのはお母さんが多いと感じる。買い物をして、御飯を作って片づけをするのは、お母さんがやるのが当たり前になっている家庭が殆どで、何でお父さんがしないの、となればお父さんは帰りが遅かったり、仕事で5時半に帰してもらえないような環境で、どうしても家庭の中の家事はお母さんで、特に田舎ではそれに逆らえない女性が多い。家事をたくさんやって、それ以外にこれに出てください、と言っても余力ない。お母さんがこういうプラスαの講演会に行く気力もなければ、体力も時間も無いのでは。今の日本の働き方になるのだが、男性は残業して仕事にのめり込むのではなく、定時になったら家庭に帰して、家庭のことは二人で話し合っ分担して築いていく、ということまで下げていかないと、女性が勉強会に出たり、講習会に行ける環境にするには、まだまだハードルが高い。その部分の周知活動というか、家庭のことを分担して決めるところが人権の基本的なベースかと。難しいことより、簡単に家のことを家族会議で決めたことだよと、お互いに尊重し合うところからいかないと、いくら勉強会をしても自由な時間がとれる一部の人しか出てこれない。すごくハードルが高い話なので、来年からすぐできます、ではないが、もう少し簡単などころで人権の話、男女共同参画の話をもっと分かりやすいアピールの方法とかあれば良い。委員の話をいただいた時に、個人的にはそういう考えだった。私は共同参画だから、と突っ走れるだけのものがきちんとあれば良いが、そうでないと流されたほうが楽かと。先ほどのお茶の話もそう。別に男性がお茶を入れても構わない。女性には女性の仕事というものがまだまだこの社会でもある。どうい方法でやったら分からないが、もっと基本的な意識のところから、少しずつ崩していかないと、浸透しないのかと思う。その辺から頑張っていきたい。
- 【万城目委員】 色々な視点からでいいと思う。こういう考えもある、というやり方でやっていきたい。
- 【山本委員】 コロナで様々なことが潰されていくのだと思う。でも、釜石市の男女共同参画、この集いに関しては、コロナでもこれだけのことができる発信することが大事で、そういう会議であってほしいと願っている。